

ウレタン防水材のアーバンルーフシリーズから

建物の温度上昇を抑える高反射塗料「トップコートS | 発売

横浜ゴム(株)(社長:南雲忠信)は、ビルやマンションの屋上に使う防水対策商品として、高 反射塗料の「トップコートS」を9月に発売した。トップコートはウレタン防水材の上に塗り、耐久 性を高めるための仕上げ材。「トップコートS」はこれらの基本性能に加え、太陽光の50%以上 を反射させる高い遮熱効果を持つ。同商品を屋上に使用すると建物の温度上昇を抑えられ、 冷房費や消費電力を抑えられるため、二酸化炭素の削減手段としてアピールしていく。

また、「トップコート S」は水性系のアクリルウレタン系で刺激臭がほとんどないため、改修工事の際も安心して使用できる。併せて、ウレタン防水材「U-8000」、下地と防水材を接着させる「プライマーE-100」を使用すれば、全工程で有害な有機溶剤を使わない環境対応型防水工法が可能となる。

ウレタン防水材は、屋上やベランダなどに液状のウレタン樹脂を塗布し硬化させて建造物の防水性を確保する。複雑な形状でも簡単に施工でき、シームレスな塗膜で美観に優れるため近年、防水改修工事用として需要が伸びている。



トップコートSの荷姿